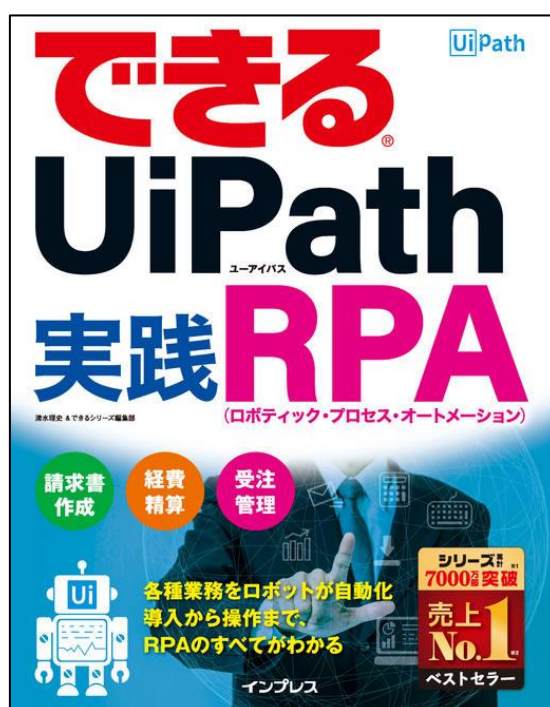


各 位

2019年2月21日  
株式会社インプレス**Amazon 書籍【ビジネスと IT】 カテゴリーで 1 位獲得！  
『できる UiPath 実践 RPA』 が好評につき、たちまち重版決定！**

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小川 亨）が出版する『できるUiPath 実践RPA』が、アマゾン書籍ストア【ビジネスとIT】カテゴリーで2019年2月14日に1位を獲得。発売後1週間で緊急重版を決定しました。



生産性向上や働き方改革の観点からも注目されるRPA（ロボティクス・プロセス・オートメーション）。RPA製品の中でも日本国内で800社、世界2,700社以上の導入実績（2019年1月時点）を持つRPAツールである「UiPath」の実践的な活用ガイドブックとして、『できるUiPath 実践RPA』を2019年2月7日に発売しました。発売後1週間の2019年2月14日には、アマゾン書籍ストア【ビジネスとIT】カテゴリーにおいて1位を獲得したほか、各書店でも順調に販売が推移し、この度緊急重版を決定いたしました。

**■『できるUiPath 実践RPA』の概要**

RPA（ロボティクス・プロセス・オートメーション）をより具体的に理解するならこの1冊！本書ではその概念だけでなく、実際にUiPathのRPAサービスを使用し、RPAアプリのダウンロードから丁寧に解説。RPAのワークフローを作るための基本操作から、操作をレコーディングして実際に業務をRPA化するまでの流れを解説します。

UiPathの日本法人であるUiPath株式会社の監修の元制作された本書は、ステップバイステップで操作を試しながら学ぶことができるため理解がしやすく、より実践的な内容に仕上がっています。Excelやメール、Webアプリを使った連携はもちろん、日時や日付の処理、エラーが発生したときの対処、マクロの組

み込みなど、RPAの操作に役立つテクニックを満載。また、REST APIやJSONの活用、リトライスコープ、ダウンロードの詳細処理など、さらなる上級テクニックも掲載しています。請求書の作成や受注管理、経費精算など、各種業務をRPA化する際に最適な解説書です。

## レッスン 1

### RPAとは

RPAの概要

「働き方改革」や「業務効率化」といった観点から、「RPA」が急速に注目を集めています。RPAとは何なのでしょうか？ その実体に迫ってみましょう。

**「働き方改革」にも役立つ**

現在の仕事内容を効率化しようという取り組みは、「働き方改革」にも大きく関係します。やみくもに「時短」を叫ぶだけでなく、仕事の内容を見直し、それを効率化する仕組みをすることで、やらなければならぬ仕事を短時間で済ませることこそ本当の意味での働き方改革につながるはずです。

**生産性も向上する**

「働き方改革」という時間を短縮することにばかり注目してしまいがちですが、仕事内容を改善することで生産性を向上させることができる点にも注目すべきです。1つ1つの仕事の量を向上させたり、新たな取り組みをする時間を削減したりすることも可能です。

**今の仕事のやり方をなるべく変えずに改善する**

仕事を効率化するために、今の仕事のやり方を変えたり、そこで使っているシステムに大きく手を加えたりすることは、かえって逆効果になる場合があります。コンサルティングやシステム開発に多くの費用がかかったり、新しい仕事の仕方に慣れるまでのトレーニングが必要になってしまったりしては意味がありません。もちろん、仕事内容を改善して無駄を省くことは大切ですが、まずは、今の仕事の「流れ」を再現することから効率化する方法を検討してみましょう。

**ロボットを使って人間の作業を自動化しよう**

「RPA」は、今まで人間がしていた仕事の一部をコンピュータ上で動作するロボットを使って自動化しようという取り組みです。経費精算や受注管理、請求書作成、アンケート集計、情報収集など、普段、Excelや業務アプリケーションを使ってしている作業をロボットに見えさせることで、人間の代わりに入力や値のチェック、情報取得といった作業を自動的に実行させることができます。

**RPAって何？**

RPAとは「Robotic Process Automation」の略で、ロボットによる仕事の自動化を指します。「デジタルレイバー」などと呼ばれることもあります。従来のITシステムや仕事を自動化することができず、RPAでは、主に「人間がパソコンで実行していた作業」を開き換える技術となります。

**ロボットって何？**

RPAの「ロボット」は、いわゆる機械のロボットではなく、パソコン上で動作するソフトウェアです。「Excelを開く」「セルのデータを読み込む」「読み込んだ値を業務アプリの入力欄に入れる」「更新ボタンをクリックする」など、あらかじめ定義した指示書に従ってパソコンのアプリを自動的に操作することができます。

**人間はほかの作業に集中できる**

ロボットによって、今まで何十分、何時間もかかっていた仕事が短時間で完了すれば、その分、人間は別の仕事をすることができます。新しい企画を考えるなど、人間しかできない、よりクリエイティブな仕事に時間を割けます。

**作業効率がこんなに違う**

ロボットは、アプリの起動やデータの取得、入力といった作業を極めて短時間で実行できます。例えば、Excelを起動して、表のデータを確認し、その値を業務アプリケーションに入力。入力結果を元の表に反映して更新するという作業に、人間が数分～数十分の時間をかけていたとしても、ロボットならほんの数秒～数十秒で処理を完了させることができます。

**自動化をサポートしているブラウザ**

UiPath Studioは、Internet Explorerだけでなく、ChromeやFirefoxでの操作にも対応しています（ChromeやFirefoxは拡張機能のインストールが必要）。

▼拡張機能のインストール（Chrome）  
<https://studio.uipath.com/lang-jav/2018.3/docs/installing-the-chrome-extension>

▼拡張機能のインストール（Firefox）  
<https://studio.uipath.com/lang-jav/2018.3/docs/installing-the-ffrx-extension>

**4種類のレコーディングを使い分けよう**

レコーディングには、「ベシック」[デスクトップ] [ウェブ] [Citrix]の4種類があります。「ベシック」は、いろいろなアプリに使える汎用的な方法で、「デスクトップ」はデスクトップアプリ、「ウェブ」はブラウザで動作するWebアプリを記録するときに指定します。最後の「Citrix」は仮想環境やターミナルの操作を記録するときに使います。

10 **できる**

11 **できる**

次のページに続く

## レッスン 5

### 操作をレコーディングしてワークフローを作るには

操作のレコーディング

初めてワークフローを作成するときは、レコーディング機能を活用すると便利です。フローチャートの中に記録した処理を自動的に登録してみましょう。

**レコーディングの開始**

レコーディングは、マウスやキーボードの操作を記録し、自動的に自動化処理を作成できる機能です。レコーディングを開始後、ロボットに操作させたい処理を自分で行うだけでいいので、どのようなアクティビティをどう使えばいいのかが分からない場合でも、処理の自動化に挑戦できます。

**Webアプリの操作の記録**

**1 Webアプリのページを表示する**

Webブラウザを起動し、下記のWebページを表示しておく

ここでは、Internet Explorerを利用する

▼UiPath Demo  
<http://www.expense-demo.com/>

**2 ブラウザーを開く動作を記録する**

1 [ブラウザを開く]の▼をクリック

2 [ウェブページを開き、レコーディングを開始]をクリック

**3 表示するWebアプリのページを指定する**

手順1で表示したページの色が変わった

1 ページの任意の場所をクリック

2 URLを確認 3 [OK]をクリック

ブラウザを起動し、Webアプリのページを表示する操作が記録された

**自動化をサポートしているブラウザ**

UiPath Studioは、Internet Explorerだけでなく、ChromeやFirefoxでの操作にも対応しています（ChromeやFirefoxは拡張機能のインストールが必要）。

▼拡張機能のインストール（Chrome）  
<https://studio.uipath.com/lang-jav/2018.3/docs/installing-the-chrome-extension>

▼拡張機能のインストール（Firefox）  
<https://studio.uipath.com/lang-jav/2018.3/docs/installing-the-ffrx-extension>

24 **できる**

25 **できる**

次のページに続く

Webページからのファイルのダウンロードは、簡単なようだが注意が必要な処理です。ダウンロード先に応じて2つの方法を使い分けるといいでしょう。

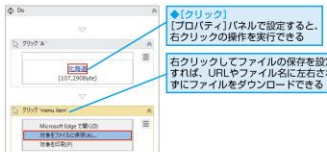
**「固定」と「動的」2つのダウンロード方法**

ファイルのダウンロード方法は大きく2つのパターンがあります。ダウンロード先のURLが固定されている場合は [HTTPリクエスト] を使うのが簡単です。一方、ダウンロード先のURLが処理のたびに変わる場合は画面上のリンクを右クリックしてファイルを保存するといいでしょ。

●固定URLの場合は [HTTPリクエストウィザード] を使う  
[HTTPリクエスト] は、HTTP接続を発行できるアクティビティです。HTTP通信で使われる [GET] などのメソッドや各種パラメーターを指定して、HTTPでファイルをダウンロードします。



●動的なURLの場合は右クリック操作を使う  
ファイル名やURLなどが固定されていない場合は、UiPath Studio の各種アクティビティを使って画面上のリンクを操作します。右クリックで [対象をファイルに保存] を選択しましょう。



**パッケージのインストールが必要**

[HTTPリクエスト] を利用するには、[UiPath.Web.Activities] パッケージをインストールする必要があります。[パッケージを管理] を起動後、[すべてのパッケージ] を選択した状態で、[ui.path.web.activities] を検索し、パッケージをインストールしておきましょう。



**ダウンロード先のURLが固定の場合**

URLが固定されている場合の例として、日本郵便のWebページから郵便番号一覧をダウンロードしてみましょう。ダウンロードしたいファイルのURLが決まっているので [HTTPリクエスト] でダウンロードできます。

**1 ダウンロードファイルのURLを取得する**

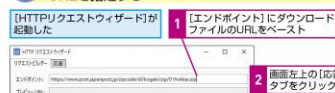
ここでは、日本郵便のWebページから北海道の郵便番号一覧をダウンロードする



**2 [HTTPリクエスト] を追加する**



**3 [エンドポイント] にダウンロードファイルのURLを指定する**

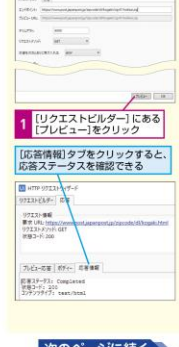


**URLを確認しておこう**

[HTTPリクエスト] でファイルをダウンロードする場合は、ダウンロードしたいファイルのURLが必要で、手順1のように、ダウンロード用のリンクを指定してURLをコピーしておきましょう。Webページによっては、ボタンを押した後にダウンロード先にリダイレクトされる場合もあるため、必ずファイルのURLを取得することが重要です。

**事前にテストしておこう**

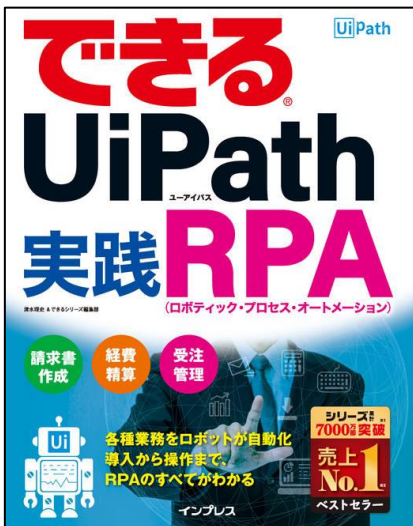
手順4の設定後、[リクエストビルダー] タブに切り、画面下の [プレビュー] をクリックすると、指定したHTTPリクエストを実行することができます。[応答] タブの [応答情報] タブをクリックして、発行したリクエストに対する応答を確認しておきましょう。



**収録レッスンの例**

- レッスン1……RPAとは <RPAの概要>
- レッスン2……UiPathを始めよう <UiPathの概要とインストール>
- レッスン8……経費入力業務を分析し、自動化してみよう <経理業務の自動化>
- レッスン14……画面の値や文字から処理を分岐させるには <条件分岐とフロー条件分岐>
- レッスン16……処理が終わったファイルをフォルダーに移動するには <ファイルの移動>
- レッスン21……Excelのマクロを実行するには <マクロを実行>
- レッスン22……ExcelのデータをWebアプリに入力するには <Excelデータからの入力>
- レッスン25……Webページから表データを読み取るには <データスクレイピング>
- レッスン29……目印の画像の近くをクリックするには <Ctrix>
- レッスン32……失敗する可能性がある処理を実行するには <リトライスコープ>
- レッスン35……西暦から和暦へ変更するには <変数とインスタンス>
- レッスン36……ファイルが更新・追加されたことを検知するには <イベントを監視>
- レッスン38……外部のWebサービスと連携させるには <REST APIとJSONの活用>

**■ 書誌情報**



書名：できる UiPath 実践RPA  
 著者：清水理史&できるシリーズ編集部  
 価格：本体2,000円＋税  
 発売日：2019年2月7日（木）  
 ページ数：196ページ  
 ISBN：978-4-295-00567-4

- ◇Amazonの書籍情報ページ：  
<https://www.amazon.co.jp/dp/4295005673/>
- ◇書誌情報：<https://book.impress.co.jp/books/1118101133>
- ◇書影ダウンロード：  
<https://www.impress.co.jp/pr/img/9784295005674.jpg>

## ◇目次

- 第1章 UiPath RPAの基本を学ぼう
- 第2章 RPAをもっと使いこなそう
- 第3章 Excelと連携しよう
- 第4章 メールやWebサイトと連携しよう
- 第5章 より高度なテクニックを使おう

## ■著者プロフィール

清水 理史（しみず まさし）

1971年東京都出身のフリーライター。雑誌やWeb媒体を中心にOSやネットワーク、ブロードバンド関連の記事を数多く執筆。「INTERNET Watch」にて「イニシャルB」を連載中。主な著書に『できるパソコンのお引越し Windows 7からWindows 10に乗り換えるために読む本』『できるポケット スッキリ解決 仕事に差がつく パソコン最速テクニック』『できるWindows 10 改訂4版』『できるWindows 10 活用編』『できるゼロから始めるAndroid スマートフォン超入門 改訂3版』（インプレス）などがある

## ■できるシリーズについて

<https://dekiru.net>

「できる」シリーズは、画面写真をふんだんに使い、操作の流れを紙面に再現した入門書の元祖です。操作に必要な「すべての画面」と「すべての手順」を紙面に掲載しているので、パソコンやインターネットの操作に不慣れな方でも簡単に操作や知識を身に付けられます。楽しみながら操作を学べるように、各レッスンをストーリー性を持たせ、章ごとに知識が身に付く構成になっています。おかげさまで「できる」シリーズは、シリーズ累計7,500万部を突破しました。

以上

---

### 【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計 7,500 万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT 関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」、「SmartGrid ニュースレター」、「Web 担当者 Forum」等の企業向け IT 関連メディアブランドを総合的に展開、運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、及びデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

### 【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：唐島夏生、証券コード：東証1部 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「旅・鉄道」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

### 【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

TEL：03-6837-5034 E-mail：[pr-info@impress.co.jp](mailto:pr-info@impress.co.jp) URL：<https://www.impress.co.jp/>